

有機稲作ほ場におけるレーザーレベラー実演会を開催

～「いすみっこ」の生産技術向上と安定生産を目指して～

夷隅農業事務所改良普及課 令和6年1月16日発

いすみ市では、化学合成農薬・化学肥料不使用で栽培した「コシヒカリ」を「いすみっこ」の名称でブランド化しており、夷隅農業事務所では安定生産を支援しています。

10月24日にスガノ農機（株）を講師に招き、レーザーレベラーによるほ場の均平作業の実演会（参加者61名）を開催しました。均平がとりにくい大区画水田においては、有機稲作の抑草管理に必須である「深水管理」が十分に行えず、雑草の多発による減収が問題となっています。そこで、最初に均平作業の具体的な作業手順の講演を行った後、水田での実演を行いました。参加者は均平作業を間近で見ること、プラウやバーチカルハロー（※）での下準備の必要性が共有でき、理解が深まりました。来作では、均平にしたほ場の水管理の省力化のため、ほ場水管理システムを市と連携して検証する予定です。

農業事務所では、持続可能な農業の拡大に向け、有機農業の取組を推進していきます。

（※）プラウやバーチカルハローとは、より深く耕起し、整地するための農機の名前



熱心に講演を聴く参加者



均平作業の手順を確認する参加者